

新たな出会い 課外活動を「仕掛ける」!



学生の主体性を尊重するといった場合、耳障りは確かにいい。しかし、その判断や決定を行う主体が十分に成熟している保証はありません。知識や経験が未熟であれば、自分の狭い経験や知識を元にした行動しか取れず、未熟なままに判断を迫ると、安易な方向が誤った方向に向かいかねません。とくに、単位という強制力のない課外活動に参加する学生には偏りが目立ちます。しかし、それまで分からなかったことが勉強や経験を通して見えてくる、これが成長や発展というもので

べきだということがしばしば言われます。とくに、課外活動は主体性(自治)とほぼ同義として考えられることがあります。



学生部長 高橋 正樹
情報文化学科・教授

大学では、勉強も課外活動も学生の主体性を尊重す

学生の主体性に期待して



しょう。やる前から自分の狭い世界の頭でその有用性や意味を判断するのでは、その成長や発展の程度はたかが知れています。そのとき、何が大事なのか分からなかったが、後になっていろいろつながって、ものが見方が広がる、それが成長や発展というものではないでしょうか。溝上慎一(『現代大学生論』)がいうように、学生の頭でその意義や重要性がなかなか分からない知識や経験に「重要だ」学ぶ必要がある」とお墨付きを与えるところに、学校教育や大学教育の意義があるように思います。限定的な知識と経験しか持たない学生に、教員は新たな知識や経験との出会いを仕掛ける。留学に興味がない、不安だという学生に、「騙されたと思って行け。絶対、後悔しないから」と説得する教

成長は未知なものへの関心から



師の姿がそこにあります。しかし、大人や教師の言うことを黙って聞け、というのではありません。大事なものは、判断や決定の内なる主体を大事にしながら、主体のさなる成長のために未知なものへの関心を開いておくことでしょう。このように考えると、ここで私が学生に「もっと、課外活動に積極的に参加しましょう」と説教じみたことと言っても意味がありません。むしろ、大学は、課外活動を支援するばかりか、積極的に仕掛けてますから覚悟しておいてくださいと言ふことの方が意味があるように思います。そのために、学生部では今年度から数百万円程度の予算を組んでもらいました。「ボランティア活動を仕掛ける」「他大学学生との活動を仕掛ける」「地域と学生との交流を仕掛ける」……。本学では、学生の課外活動が活発な団体の陰には熱心な教職員の指導があります。まずは、そのような熱心な教職員や学生の要望にこたえとともに、さらに積極的に課外活動を「仕掛ける」体制も必要ではないかと考えています。

CONTENTS

2・3面

集い楽しむ同好の士

課外活動—平成21年度公認団体と同好会
貴重な実体験—インターシップ・学外実習
実習受け入れ協力企業一覧

4・5面

オープンキャンパスを楽しむ

ユニークな公開講座

—情報システム特論

私の研究テーマ

お薦めBOOK

6面

eラーニングを活用した就職支援プログラム

学内禁煙を実施

9月卒業9人が巣立つ

湧源・編集後記に代えて

7面

紅翔祭(10/24・25)案内特集

舞の海秀平氏を招き文化講演会

実行委員長あいさつ イベント紹介

8面

ヴィジュアルリストの手塚氏を迎え公開講座

卒業生の便り

国際交流インストラクター44人に委嘱状

目標掲げ伸び伸びと

課外活動

軽音楽部

主将・情報システム学科3年

吉原 彰人

今年の春に1年生が30人も入部し、現在70人で活動しています。一応、軽音楽「部」となっています。そんな堅苦しい活動をする部活ではありません。単純にお互いの合う仲間、音楽の趣味が合う仲間同士でバンドを組み、日々のんびりと活動しています。バンド数も今年で一気に増え、現在13のバンドが活動しています。1年前と比べバンド数が2倍以上に増えたのでうれしい限りです。ほとんどの人が大学に入ってから楽器を始めています。周りの人と同じタイミングで始める人が多い

70人13バンドが活動

のお互いの切磋琢磨で、皆1年間で目まぐるしいほどに成長していきます。今年の1年生でも夏にはライブハウスで演奏するバンドも出ました！活動場所は主にクラブハウス棟の1室です。機材は豊富に揃っており、すぐにでもライブを始められるくらいに充実しています。部室は基本的に1日中解放しており、昼休みと放課後の決まった時間に練習したい人が使用しています。現在、県内の他大学の軽音楽部との合同ライブイベントに参加しています。月に3回ほど新潟市内の有名ライブハウスでライブさせてもらっています。また、校内ライブも定期的に（年4回ほど）行っているのでも、せっかく練習したのに出番がない！ということはありません。もっと活動の場を校外に伸ばそうと思っているので、在校生の皆さんや地域の方ぜひ一度足を伸ばしてみてください！

中国文化研究会

情報文化学科4年

渡辺 浩太

私たち中国文化研究会はとって自由な部活です。活動内容は、留学経験のある先輩が丁寧に自分たちの経験を後輩に伝えたり、區先生と朱先生のバックアップのもと、文化祭活動を行ったりしています。ときにはいきなり「飲み会するぞ！」と不特定に号令をかけるときもあれば、今年には有志を募って台湾旅行にも行きました！また、新潟大学に留学している中国人と一緒に飲み会を開きました。会話は何にも勝る語学の勉強法です。こちらは手

留学生と飲み会で会話

持ちの少ない単語で何とか会話をしますが、そこは酒の席ということで、勉強の強制感はありません。しかも中国人留学生たちも日本語を知っているの、早い話、なんとかなります。そのため中国語を選択して間もない方でも絶対に身につくイベントがこの部では経験できます。また不特定に号令をかける飲み会は日本人ばかり、というか本学生が主なので他言語選択の方、他学科の方でもぜひ例の号令がかかったら遠慮なく参加してください。この部は中国語や中国の文化をメインに形成されていることはもちろんです。その一方で先輩後輩、言語、学科、大学といった他分野同士の意見交換の場として利用していただけたら幸いです。



軽音楽部



中国文化研究会



バドミントン部



バスケットボール部

進路を求めて 学外実習

受入企業・団体・官庁名(順不同)

(株)新潟放送

情報システム学科3年 永島 恵理

私は2週間、新潟放送で実習をさせていただきました。私はテレビ制作部という、イベント制作部などのローカル番組を制作する部署に配属されました。そこではまず、取材に行き、その取材で撮影した映像の編集をして、一つのVTRを制作するところを拝見させていただきました。たった数十分のVTRでも、取材に丸1日、編集に約1週間など、多くの時間を要することが分かりました。またイベント王国の収録も拝見させていただきました。

生番組に出て貴重な体験

組づくりを考えているかを感じさせる場面、この2週間で多く直面することができました。これからは今までと違った視点からも、テレビを楽しむことができていくと思います。

生番組に出て貴重な体験。生番組は、情報提供の場、大きな責任が大きいだけあって、スタッフの皆さんがきちんと責任を持って取り組んでいました。また視聴者のためにいかに分かりやすく、より楽しんでもらえるような番組づくりを考えているかを感じさせる場面、この2週間で多く直面することができました。これからは今までと違った視点からも、テレビを楽しむことができていくと思います。

地域と自分を再発見した

私の実習先は、新潟県庁の新潟地域振興局企画振興部でした。そこでは局業務の総合調査、地域振興（地域ごとのイベント企画など）、労働相談、出納審査などといった業務をやっています。私が業務実習として任されたのは、局が発行する広報誌の点検と意見交換、水辺のイベント作成、そして各地域振興局のホームページのデザイン案の提案などといったように、私の予想していたお役所仕事とは少し異なった実習でした。また、五泉市、西蒲区、阿賀町の現場を訪問しての地域の特産物の理解を深めてきました。職員からは「地域に新しいモノを作るのではなく、地域にもともと存在する資源を生かしたその地域独自の

私は将来、公務員を目指していますが、今回の実習で就職するという重要性や、仕事をすると厳しさや責任感、そして職場の仲間と打ち解けて働くことの楽しさなど多くを学び、新たな目標が立てられたのではないかと感じました。

新潟県 新潟地域振興局

情報システム学科3年 若杉 直樹

私の実習先は、新潟県庁の新潟地域振興局企画振興部でした。そこでは局業務の総合調査、地域振興（地域ごとのイベント企画など）、労働相談、出納審査などといった業務をやっています。私が業務実習として任されたのは、局が発行する広報誌の点検と意見交換、水辺のイベント作成、そして各地域振興局のホームページのデザイン案の提案などといったように、私の予想していたお役所仕事とは少し異なった実習でした。また、五泉市、西蒲区、阿賀町の現場を訪問しての地域の特産物の理解を深めてきました。職員からは「地域に新しいモノを作るのではなく、地域にもともと存在する資源を生かしたその地域独自の

株式会社日本旅行 新潟支店
イワツキ株式会社 新潟工場
株式会社エフエムラジオ新潟
ホテル朱鷺メッセ株式会社
アークベルグループ
株式会社新潟総合テレビ
新潟県中小企業家同友会
株式会社第一印刷所
富士ゼロックス新潟株式会社
株式会社ホテルオークラ新潟
株式会社北都
社団法人新潟県経営者協会
株式会社博進堂
株式会社新潟フジラー
株式会社新潟日报社
株式会社新潟放送
株式会社BSNアイネット
株式会社グローバルネットコア
株式会社富士通新潟システムズ
株式会社新潟県農協電算センター
株式会社ビット・エィ
株式会社東映ホテルチェーン新潟東映ホテル
セコム上信越株式会社
新潟商工会議所
第四銀行株式会社
北越銀行株式会社
原信ナルスホールディング株式会社
日産プリンス新潟販売株式会社
株式会社サンソウシステムズ
株式会社日立ブレン
新潟県

	部員数
スポーツ部	陸上競技部
	10
	軟式野球部
	11
	サッカー部
	13
	バドミントン部
	8
	バスケットボール部
	11
文化部	男子バレー部
	11
	女子バレー部
	11
	硬式テニス部
	7
	硬式野球
	25
	ソフトテニス
学術部	茶道部
	17
	吹奏楽部
	7
	軽音楽部
	45
	ダンス部
	12
	フィットネス研究部
同好会	MMC
	18
	中国文化研究会
	17
	fifty-fifty
	6
	ACTION
	41
	knock outs
	21
	smile
	11
	BP
	7
	テカサークル
	6
	C
	18
	ロシア研究会
	20
	現代視覚文化研究会
	30
	映画鑑賞
	4
	コア研究会
	10
	アウトドア
	37
	n-VIC
	5
	麻雀同好会
	10
	NUISEco
	7
	NUISP
	16
	合唱同好会
	13
	EeeeeT∞
	7
	JAM ジャム
	32
	Drop
	13
562	

4月1日現在

集い楽しむ同好の士

バドミントン部

主将・情報文化学科3年

枝波 裕志

私たちバドミントン部は、男子6名、女子3名、マネージャー1名で活動しており、一人ひとりが目標を持ちその目標を達成できるように頑張っています。練習は週5回、少ない人数で汗を流しています。OBやOGの方たちが激励に顔を見せてくださったり、週に2回はコーチの方が来てくださったりで、練習の指示やアドバイスをしていただきながら、日々努力しています。

インカレを目標に技磨ぐ

大きな大会は、春に2回、夏に2回、秋に1回、冬に1回の計6回開かれています。春と秋にある北信越リーグでは、男子は残念ながら去年の秋リーグ

で2部に落ちてしまいました。そして、練習に一生懸命取り組み今年の春リーグで2部に優勝したものの、入れ替え戦で勝つことができず、残念ながらいま一歩のところまで1部に昇格できませんでした。女子は日ごろの練習の成果が実り、今年の春リーグで見事に1部に昇格することができました。そして、男子は1部に上がることを目標に、女子は1部で上の順位になり優勝できるように一生懸命練習しています。そして1番の目標であるインカレに出るために、春にある中部大会と夏にある西日本大会で上位に入り、インカレの権利が取れるように日々努力をしています。練習していく中で失敗することや、うまくいかないこともありすが、部員のみんなで支えあい、OB、OG、コーチの方や、周りの人々に支えられながら課題を解決し、レベルアップできるように取り組んでいます。これからも応援よろしくお願いします。

バスケットボール部

主将・情報システム学科3年

小林 和也

私たちバスケットボール部は、選手が11人、マネージャーが3人と人数がとて少なく、試合でもベンチが余るくらいの人数しかいません。しかし、人数が少ない分みんなで声を出し合い、切磋琢磨しながら日々頑張っています。また、学外者コーチからも来てもらい、人数が少ない利点をいかし、一人ひとりの強化を中心に考え、練習に臨んでいます。

まず北信越で1部昇格を

コート練習以外にも力を入れており、週に2回練習の後に基礎トレーニングの環境でウェイトトレーニングをみながら行っています。その他にも、県内の大学やクラブチームと練習試合を行い、交流を深め良い

練習となっています。私たちは主に年2回、春と秋にある大きな大会を目標に日々頑張る努力をしています。春にある北信越大会では、北信越の各県の大学が1部から4部のBに分かれて戦う大きな大会です。私たちはその中でも2部に属しており、毎年のように1部昇格を目指している状態です。10月には、学生にとって一番大きな大会でもあり、全国大会にもつながるインカレ予選があります。しかし、この大会は春の北信越大会の結果を参考にトーナメントが決まります。私たちは毎年のように1部の上位の大学と当たるように組まれてしまいます。この大会で勝つためには、春の大会で良い順位になる必要があります。来年こそ1部に上がり、インカレ予選につなげることでできるようなもう一度基礎トレーニングからやり直して頑張りたいと思います。

インターンシップ

貴重な実体験

私は就職活動が始まる前に、いろいろな仕事をできる限り体験してみたいという思いがありました。しかし、アルバイトを次々と変えるわけにもいきません。その意味で今回のインターンシップは私にとって非常に良い機会となりました。ラジオ局でのインターンシップということで、リクエスト曲をかけるためのCDの登録作業から放送番組組のお手伝いなど、たくさんの方の作業を体験させていただきました。

求められた細心な注意力

その体験の中で私が感じたのは、放送に携わる仕事では、さまざまな面においての細心の注意が払われているということと、ラジオ放送は、リスナーに情報を提供する仕事です。間違った情報を提供するわけ

私が感じたのは、放送に携わる仕事では、さまざまな面においての細心の注意が払われているということと、ラジオ放送は、リスナーに情報を提供する仕事です。間違

なかなかにない体験です。この貴重な体験で学び、知ったことを、これからの就職活動や生活に生かしていきたいと思っています。

今回の実習で、さまざまなことを経験させていただき、実習前より仕事に対するイメージが湧いてきました。この経験をこれからの就職活動に生かしていきたいと思っています。

頑張った分実りある魅力

今回の実習で、さまざまなことを経験させていただき、実習前より仕事に対するイメージが湧いてきました。この経験をこれからの就職活動に生かしていきたいと思っています。

また、自分が行きたい地域の旅行プランを自分で考え、それに行きたいという場合、自分がその旅行の添乗として行ける場合もあるという話を聞き、頑張った分、行きたいところに行けるのとても魅力的だと感じました。

(株)FM新潟

情報文化学科3年 溝口 司



(株)新潟放送



新潟県 新潟地域振興局



(株)FM新潟



日本旅行(株)

日本旅行(株)

情報文化学科3年 小飯田 望

私は就職活動が始まる前に、いろいろな仕事をできる限り体験してみたいという思いがありました。しかし、アルバイトを次々と変えるわけにもいきません。その意味で今回のインターンシップは私にとって非常に良い機会となりました。ラジオ局でのインターンシップということで、リクエスト曲をかけるためのCDの登録作業から放送番組組のお手伝いなど、たくさんの方の作業を体験させていただきました。

今回の実習で、さまざまなことを経験させていただき、実習前より仕事に対するイメージが湧いてきました。この経験をこれからの就職活動に生かしていきたいと思っています。

オープンキャンパス開催

今回は10月4日

入試説明や模擬講義を体験 多彩なプログラムを用意

今年度のオープンキャンパスが7月19日、8月9日に本校・みずき野キャンパスで開催されました。両日とも約300人の高校生と保護者から参加いただき大学説明、模擬講義体験、入試説明など多くのプログラムを体験していただきました。

まず本学の学部・学科のカリキュラムの特徴などが、平山征夫学長はじめ教員や実際に学んでいる学生から説明が行われました。それ以降はすべてのプログラムが自由選択でキャンパスライフを思い思いに楽しんでいただきました。

模擬講義体験は、情報文化学科では語学（英、露、中、韓の4カ国語）のほか、本学学生の国際交流インストラクターによるワークショップ形式

による授業などが行われました。情報システム学科ではソフトウェア開発やコンピュータ実習のほか「人間ってスゴイ！—人間の情報処理能力」などが開講されました。

保護者対象のプログラムでは、進路選定、入試、学費、奨学金、就職など現在の大学の状況について説明され、多くの保護者が耳を傾けていました。

また昼休みには、学食試食体験と部活・サー

クルが行われました。学生食堂「弥彦」では海外提携大学のある4カ国の特別メニュー、ロシア「ボルシチ」、中国「四川風担々麺」、韓国「ピリ辛風焼肉定食」、アメリカ「チキンのBBQソース焼き」が用意され、第1回の人気ナンバー1はアメリカ、第2回は中国でした。

また、参加者が気軽に立ち寄れる個別相談コーナーも設けられ、入試から就職までのモデル、入試傾向や奨学金など多くの質問がありました。海外留学の相談も行われ、昨年度留学をした在学生が派遣留学、海外夏期セミナー制度の特色や、楽しい留学生活の体験談を披露し関心を集めていました



私の研究テーマ

金融工学デリバティブ必須の学問

情報システム学科・教授 白井健二

私の研究テーマは、広い意味で金融工学です。金融工学とは、世の中にあるさまざまな金融商品について、その適正な価格はいくらかなのかというものを、数学を駆使して求めます。特に、金融派生商品（デリバティブ）を扱う人にとっては必須となる学問領域です。

この分野のバックボーンを形成するのが、伊藤清先生が体系化された確率微分方程式です。従来、方程式で表現することができたのは直線もしくは一定の規則性を持つ曲線のみで、まったくランダムな曲線は微分ができませんでした。伊藤の定理は微積分に確率論を導入すること

とで、規則性のない曲線を方程式で表現することを初めて可能にしました。この伊藤の定理をベースに、確率微分方程式で株式など金融商品の価格変動を軌跡などで表現することができるようになりました。

有名なブラック・ショールズ方程式とは金融派生商品の価格付けに現れる確率微分方程式（およびその境界値問題）のことです。ブラック・ショールズ

モデルは1973年にフィッシャー・ブラック（Fischer Black）とマイロン・ショールズ（Myron Scholes）が共同で発表した理論であり、このモデルを使って当時の懸案であったヨー

以来、金融工学は、金融派生商品の価格付け理論のみならず企業が新たなプロジェクトをスタートさせる際、ある種企業の命運をかけることがあります。プロジェクトの成功をできるだけ確かなものとするために、経営トップへの計数評価が一つのプロジェクトをスタートさせる判断材料となります。ただし、プロジェクトのスタート時期は、必要な情報や社会情勢がすべて事前に得られるわけではありませぬ。そういう状況下において、確率微分方程式モデルを駆使してプロジェクト評価を行う研究を進めています。

よう、参加の制度をさまざまに整備しようとするものです。

このような民主主義（デモクラシー）の発想は、日本の憲法改正論議にも影響を与えています。憲法改正によって環境権をあらたに定め、日本の政治をエコロジーの方向に近づけていくべきなのか。それとも、現行憲法のまま13条の生命・自由・幸福の追求や、25条の健康で文化的な生活について、日本国民を超えて保障するよう政府を義務づけることが可能であるのか。こういったデモクラシー・エコロジー・憲法の関係について、たとえばEU（欧州連合）の場合などと比較しつつ、いつかは自分なりに考えをまとめてみたいと思っています。

環境問題とデモクラシー

情報文化学科・教授 白井陽一郎

環境政策の形成にあたっては、しばしば民主主義（デモクラシー）が強調されます。一見もっともらしいのですが、実はここに、熟考を要する問いがあります。政治と経済の自由な活動を憲法で保障した国々、そうした先進民主主義の国々こそ、真つ先に生態系を破壊してきたのではなく、いかなる民主的な話し合いによっても変更の許されない、憲法上の絶対的な規範として、政治・経済の自由が守られた国々では、実は環境問題の根本的な解決は不可能なのではないか。必ずや、産業の利益が優先されてしまうのではないか。これが、環境問題におけるリベラル・デモクラシー批判です。

こうした問いかけから、エコ

ロジカル・デモクラシーと呼ばれる考え方が打ち出されてきました。それによると、もっとも考慮すべきは、生態系の破壊によって命を奪われてしまうにもかかわらず、政治の場に声を届けることのできない者たちの存

代表されえない者たちをも包摂した環境権を、いかなる民主的な話し合いによっても変更の許されない、憲法上の絶対的な規範として打ち立てることが求められます。また同時に、あたかも外国人・将来世代・自然存在

の三者であるかのように、その代弁者として、環境正義を訴える政治の担い手が重要になります。エコロジカル・デモクラシーとは、こうして環境権を憲法規範として打ち立て、代弁者が立法や司法の場に進出していき

特別講師を招きユニーク公開授業

<今年度前期の講義内容>

- ①技術
「情報セキュリティ」
(新生銀行・笠原謙氏)
- ②政策
「村上市朝日地区の
光ファイバーによる
総合情報ネットワーク整備事業」
(村上市朝日支所・志田俊輔氏)
- ③活用
「地域ネットビジネスの推進事例」
(荒川町商工会・辻川正敏氏)
- ④活用
「地域生活情報交流事例」
(NPO法人 ながおか生活情報
交流ねっと・桑原真二氏)
- ⑤産業
「情報サービス産業の動向と
求められる技術者像」
(NECソフト新潟支社・加賀爪一夫氏)

本学では、授業にさまざまな工夫をしていますが、情報システム学科のユニークな授業の一つとして、「情報システム特論」があります。

情報システムは、社会で使われてこそ意味のあるものです。また、情報システムを支えるICT (Information Communication Technology: 情報通信技術) は、社会が要求する方向へ進歩、発展し、システムとして構成されて、さまざまなビジネスに適用されていきます。

この授業では、ICT関連の技術、事業、

産業界での最新のICT活用など

政策立案およびビジネスにおけるICT活用の分野において、産業界の第一線で活躍されている方々を特別講師としてお招きし、実際に関与されている事例をもとにした講義をお願いしています。

この講義から、産業界における最新のICTおよびその利用・活用の動向と、それにまつわる課題について学ぶことができます。

また、授業の一環として、履修学生はチームに分かれ、それぞれのチームで講義トピックに関連するテーマを設定して、調査活動を行います。これによ

多様なビジネスシーンの事例学ぶ

て、関連する知識を自ら取得し、さらに深化させることができます。

外部講師の方々による特別講義(1時限・90分×5回)は、学外の一般社会人の方も聴講することができるよう、公開講義としてあります。この点でも、社会貢献、地域貢献の観点からユニークな授業であるということができます。

また、聴講に訪れた一般の方々が、積極的かつ真摯に聴講されている姿勢を目の当たりにして、履修学生たちは刺激を受け、自分たちの学習態度を省みて、より真剣に取り組むようになります。この点もユニークな授業であるゆえenといつてよいでしょう。

今後も、各界の第一線のキーパーソンに、時勢にあった講義をお願いしていく予定です。

毎年4月中旬にその年の公開講義の予定を公表しています。

(情報システム学科・教授 大竹康夫)

『踊る大捜査線に学ぶ組織論入門』

金井壽宏・田柳恵美子著

かんき出版(2005年)

感動する書籍を読むことは大事ですが、感動する映画に出会うことも貴重な経験です。リーダースhipを学びたい人に見てほしい映画で、世代を問わず大きく話題になった作品の一つは、『踊る大捜査線』シリーズです。

この素材を元に、経営学の中で本来、最も身近で日常的にも役に立つはずの「組織論」というものを、できるだけ分かりやすく解説しているのが本書です。内容を引用・要約しながら紹介します。

読み進むと、本部と現場との関係、マニュアルがあっても現場で起こる即興の大切さ、仕事の大小や優先順位と戦略発想、正しい選択の基

盤、組織文化、無能感や無気力に陥る理由、仕事の意味、キャリアのよりどころ、成人になっても夢を持つ意味、官僚制組織の諸問題、組織図にみるカタチ、縦割りの弊害、階層を隔てたの溝、リーダーとフォロワーの関係、リーダーのタイプ、リーダーの見えない組織、すごいリーダーの特徴、世代間の連携の意味合いなどが、映画に出てくる際立ったシーンと台詞を契機に論じられています。

20代、30代の若い人たちは、だらしない上司や、現場を知らない本部へのあきれと怒りを共有しながら、またミドル以上の人は、現場の若い人たちにとって、真に元気づけとなる振る舞いができているかをチェックしながら、ベテランの方は一つの「よい歳の取り方」を現場で示している姿に同一化しながら、何かを感じ、学んでみられてはいかがでしょうか。

(情報システム学科・教授 岸野清孝)



お薦めBOOK

本学図書館のWEBサイトに個性あふれる教員たちの紹介文が載っています。アクセスしてみてください。
<http://www.nuis.ac.jp/ic/library/book/book.htm>

『取材学―探求の技法』

加藤 秀俊著

中央公論新社・中公新書(1975年)

取材とは自ら問題を発見し、その問題を解決するための情報収集作業である。著者は「今日の教育は情報化時代のなかで主体的に生きるための知恵をいっこうに教えてくれない」と嘆く(23頁)。

本書はいまから30年以上前に出版されたものだが、現在もその批判の正当さに変わりはない。それ故、本書の内容は現在の私たちが読んでも大いに参考になる。図書館やリファレンスブック、データベースの活用、カタログにない書物の見つけ方、耳学問や現地取材の重要性とそ

の方法など、本書の内容は私たちに「情報を使う」ための多くの知恵を与えてくれる。

インターネットが普及した現在においても、ネットサーフィンのみで必要な情報が得られると考えてはいけない。取材の基本は図書館のみならず現場に直接飛び込んでみる足であり、取材対象者にフェイス・トゥ・フェイスで聞き書きをする手であり、耳であり、目である。

自らが追求する問題を解決するために、自分の身体すべてを駆使して情報を集める技術が、今日ほど求められている時代はないだろう。

本書は現在も新本で入手が可能であり、古本ならより安価で入手できる。その気になれば一日で読み干すことができるだろう。

(情報文化学科・准教授 吉澤文寿)

文科省の「学生支援推進事業」に採択

本学の新たな取り組み「eラーニングを活用した総合的學生支援プログラム」が、文部科学省の「平成21年度大学教育・学生支援推進事業」に採択された。

この取り組みは、卒業と同時に学生から社会人へスムーズにそして安心して人生の第一歩を踏み出すことができるよう、就職に対する不安の解消を図り、併せて企業（社会）が求める「社会適応力」を身に付けた人材を育成することを目的としたプログラムです。

就職協定の廃止などで、企業の採用活動がますます早期化し、大学も学生もまず就職先を決定することに主眼を置いてきました。そのため、採用する側（企業）とされる側（学生）ともに十分な理解がないまま、ミスマッチに気付かず（また、気付いてもやむを得ず）就職し、結果として早期離職

「社会適応力」ある人材を育成

というお互いに不幸な結果を多く招いています。また、学生にとっても、社会人となる十分な準備もなく、不安を抱いたまま就職せざるを得ず、現実とのギャップに耐えられず離職という結果も増えているように思われます。

実用は来年度から 厳しい就職環境に対応

本学では、卒業後の進路について、これまでも皆さんと一緒に考えてまいりました。分らないことや不安なこと、どんなに細なことでも構いません。いつでも遠慮せず就職課を訪ねてください。

をアレンジしたもの」を、eラーニングを通じて就職内定者に提供し、さらに企業社員が学習アドバイザーとなり企業での目的意識やスキルの生かし方などを周知することにより学習モチベーションの向上を図ります。加えて学外の専門家に よる入社前研修会（ガイダンス）を実施することによって、就職に対する不安を取り除くとともにミスマッチや現実とのギャップによる早期離職を防ぐことを目的としたものです。



今年度の10月ころから入社前研修会（ガイダンス）は行われますが、eラーニングの活用については、これからさまざまなアンケート調査によりコンテンツの作成が先行します。実用は平成22年度からとなります。

学内を禁煙に！ ご理解と協力を

本学では大学内における禁煙化を進めてまいります。まず9月24日から建物内を禁煙に。来年9月1日からは敷地内全面禁煙とします。

これは、本学を利用するすべての人（学生、教職員、学外利用者）の健康の増進、受動喫煙による被害の防止、および未成年者の喫煙の防止を主な目的としています。従って本学の学生、教職員はもちろんのこと本学にお越しになる（利用される）方々に対しましても同様とさせていただきます。何とぞ本学の禁煙への取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。



9月卒業式

9人の巣立ちを激励

本年度の9月卒業式が9月16日、本校大会議室で行われ9人が平山征夫学長から学位記を授与され、社会に巣立っていきました。

今回の卒業生は情報文化学科4人、情報システム学科5人。式には学長のほか榎木学部長や越智、近藤両学科長ら関係教職員が出席し、晴れて卒業の目標をクリアできた学生たちに、温かい拍手をおくっていました。

平山学長は「堅実に、健やかに、目標に向かって」と激励し、あらためて社会人となった学生たちを祝福しました。

学内にブリースペースを拡充

9月24日からの学内禁煙に伴い、学生ホール2Fの旧喫煙コーナーおよび隣接スペースをミーティングホール（仮）、学生ロビーとしてリニューアルしました。昼食時や休憩時間、また学生同士の打合せの場所として活用してください。飲食も可能です。

＜建物内禁煙＞
2009年9月24日～
（建物外に喫煙スペースを設けています。）
＜敷地内全面禁煙＞
2010年9月1日～

湧源

編集後記に代えて

広報委員長 澤口 晋一

情報化社会の主役がインターネットであることは論を待たない。なかでもウェブサイトの役割はきわめて大きいものがある。企業であれ官公庁であれ、情報はウェブサイトを介して発信され、利用者はこれを通じて必要な情報を収集する。もはやウェブサイトを抜きで情報収集は語れないようになってきている。ところで今回、さまざまな業種や分野のウェブサイトにアクセスしてみても、一つ気付いたことがある。それはウェブサイトに情報発信のほかに「イメージの発信」ともいうべき機能を有していることである。ウェブサイトに短期間のうちにこれほど発達した大きな理由はここにありそうである。

大学にとってもウェブサイトは、大学の姿を現在進行形で最も詳細かつ多角的に伝えることのできる唯一の媒体である。世界中の大学が意匠を凝らしたウェブサイトを公開しているのうなずける。

本学ではウェブサイトを今年4月に全面改訂した。今回の改訂に当たっては、昨年11月に広報委員会内に教員3人、職員1人の計4人からなる作業チームを置き、これに業者を加えてウェブサイトのコンセプト、内容、ページデザイン等すべて見直した。ミーティングは毎回4～5時間に及び、中には10時間を超え真冬の夜遅くまで続くこともしばしばであった。公開は4月15日だったので、その制作に半年費やしたことになる。これでようやく本学でも利用者の必要とする各種情報と大学イメージを同時発信できるウェブサイトを完成した。今年度のオープンキャンパスでは新しいウェブサイトをj見せて参加したという高校生の数が従来よりも増加し、それが県外にも及んでいる。早くも効果が現われたと考える。本学ウェブサイトをどうぞご覧ください。アドレスはhttp://www.nuis.ac.jp

「父母就職説明会」開く

3年生のご父母を対象とした就職説明会が7月26日、みずき野本校で開催され100人を超す参加者が、卒業生の体験談などに聞き入り、個別面談も行われました。

まず、就職指導委員長（竹並輝之教授）が開会あいさつ、本学の就職活動支援の取り組みを説明しました。次に「就職活動を振り返って」をテーマにパネルディスカッションが行われました。卒業生2人と4年生の就職内定者2人が実体験をご父母の皆さんの前で率直に話し合いました。

コーディネーターは授業科目「キャリア開発」講師で就職・採用アナリストの齊藤幸恵先生。厳しい就職環境の現状を踏まえて進行され、親からのさりげないサポートが最大の励みであり、親子のコミュニケーションの大切さについてもアドバイスがありました。

今回は初の試みで「個別相談会」が開かれました。早速10組のご父母が各個室に分かれ、留学体験や資格を生かした就職先など、また就職後の奨学金の返済などのさまざまな相談が寄せられました。

親のサポート 最大の励まし

テーマは〈意気「翔」天～繋がれっ!!この想い(・v・)b～〉

紅翔祭

10/24日・25日

今年で16回目となります。紅翔祭のテーマは「意気「翔」天～繋がれっ!!この想い(・v・)b～」となりました。これは「意気込みが天を衝くほど、激しく盛んなこと」という意味の意気衝天という四字熟語をもじったものです。また、副題には地域の人々と本学の、または友人同士がこの紅翔祭を通じて更に親睦を深めて欲しいという願いが込められています。

今年度の紅翔祭は10月24、25日の土曜と日曜に予定されています。それに向けて私たち紅翔祭実行委員会は、紅翔祭の伝統を築き上げてきた先輩の方々の礎を守りつつ、よりいっそう盛り上がるようにと、一歩一歩確実に準備を進めています。ルールの変更なども行いましたが、手探りの状態の中で実行委員はよく頑張ってくれています。とりわけ一年生は携わる仕事すべてが初めてなのに、新しいイベントの企画などさまざまな面で奮闘しています。

今年度は新型インフルエンザなるウイルスが世界中を騒がせています。懸念され

今年で16回目となります。紅翔祭のテーマは「意気「翔」天～繋がれっ!!この想い(・v・)b～」となりました。これは「意気込みが天を衝くほど、激しく盛んなこと」という意味の意気衝天という四字熟語をもじったものです。また、副題には地域の人々と本学の、または友人同士がこの紅翔祭を通じて更に親睦を深めて欲しいという願いが込められています。

今年度の紅翔祭は10月24、25日の土曜と日曜に予定されています。それに向けて私たち紅翔祭実行委員会は、紅翔祭の伝統を築き上げてきた先輩の方々の礎を守りつつ、よりいっそう盛り上がるようにと、一歩一歩確実に準備を進めています。ルールの変更なども行いましたが、手探りの状態の中で実行委員はよく頑張ってくれています。とりわけ一年生は携わる仕事すべてが初めてなのに、新しいイベントの企画などさまざまな面で奮闘しています。

礎を守り築く新たな思い

紅翔祭実行委員長
情報文化学科・2年 板垣 拓哉

ていた毒性はそう高くはないのですが、すでに本学でも感染してしまった学生もいるようです。インフルエンザが活発になる秋に紅翔祭は挙行される予定ですので、一抹の不安が残ります。加えて当日における天候、風など、不安な要素は尽きません。しかし実行委員会、並びに各団体の紅翔祭に向ける熱い思い、熱意がウイルスを吹き飛ばしてしまうことでしょう。

よく晴れた秋空の下、たくさんの方々のご参加を心からお待ちしております。

イベント

24日のみ

- アームレスリング大会 (フィットネス研究部)
- ダンサーズパーティ(ダンス部)
- 石川ゼミ研究展示
- 性感感染症について考えよう

25日のみ

- 秋のTreasureコーラス ~First Stage2009~(合唱同好会)

24日・25日

- 吹奏楽部コンサート
- 河原ゼミ卒研展示
- カナダ夏期セミナー
- 山下ゼミ研究展示
- NUIS Eco☆フェスタ2 (NUIS Eco)
- NUIS!軽音Live2009
- 「Don't say(笑)」(軽音楽部)
- ウサミ委員会といっしょ!@げんしけんらんど。(現代視覚文化研究会)
- MMCの名刺屋さん
- 50-50movie
- 紅翔祭茶会(茶道部)

模擬店(24日・25日)

- 究麗布たむら(硬式野球部) クレープの販売 からあげトリニク
- PACTION(ACTION) たい焼き・ジャガバターの販売
- 焼きいもズ(吉田ゼミ)
- 焼きそばたむら(バレーボール部)
- HOT☆DOG(文化4)
- フランク屋さん(NUIS Eco)
- chapchap(コリア研究会) チジミ、トッポギの販売
- やきゅうどん(Knockouts)
- モチモチ!水餃子&ぼんぼん焼き (アウトドアサークル)
- ロシアカフェ(ロシア研究会) ロシアの民芸品の展示、ボルシチとアラギーの販売
- 甘味処(ソフトテニス部) 大判焼き、餃子パンの販売
- おいしいお好み焼き屋さん (テカサークル)
- Let'sタピオカ+フェアトレード(n-vic)

主なイベント

文化講演会

演 題 「可能性への挑戦」

講 師 スポーツキャスター
NHK大相撲解説者

舞の海 秀平氏

講師プロフィール

日本大学相撲部で活躍。山形県高校教師の内定が決まっていたにもかかわらず、周囲の反対を押し切って夢であった大相撲入りを決意。新弟子検査基準(当時)の身長に足りなかったため頭にシリコンを入れて新弟子検査に合格。1991年3月、十両(四股名:舞の海)に昇進し、同年9月幕内入りを果たす。角界最小の身体ながら、「猫だまし」「八段跳び」などファンを驚かせる数々の技を繰りだし「技のデパート」の異名をとる。99年11月の引退までに、技能賞を5回受賞。現在はNHK大相撲解説者などを務めるほか、テレビ・スポーツキャスターなど幅広く活躍中。

最高位: 小結
三賞: 技能賞 5回
生涯通算成績 385勝 418敗 27休
幕内通算成績: 241勝 287敗 12休
得意技: 左四つ・下手投げ
[TV・レギュラー出演]
■NHK 大相撲解説
■フジテレビ「スーパーニュース」
木曜・金曜担当
■スカパー! ch277 旅チャンネル
「舞の海にしえ探訪」



開催日時 10月25日(日)

13:30~15:00(開場13:00)

会 場 新潟国際情報大学 本校体育館

定 員 600名

(先着順。無料。入場整理券を送付いたします)

申込方法 はがきに 郵便番号、住所、氏名、年齢、
聴講人数(上限5名)、電話番号をご記入

宛 先 〒950-2292

新潟市西区みずき野3-1-1

「新潟国際情報大学 文化講演会係」

★この講演会は、父母会およびみずき会(同窓会)の後援事業です。
★個人情報については、適切に管理し、講座および案内以外の目的では使用しません。

就活喫茶

みずき会の
イベント

クリーンアップ大作戦

10/24日

●クリーンアップ大作戦

- ・集合/10:30(受付・学生ホール)作業開始・終了予定/11:30
- ・清掃場所/大学~みずき野ニュータウン~赤塚駅
- ・参加申し込み/当日参加も可能ですが準備の都合上、事前に下記アドレスまでご連絡ください。
dousou@nuis.ac.jp

[その他] ※雨天中止となりますが要集合とします。
※ゴミ袋および軍手は用意してあります。
※参加者全員に昼食券・記念品を用意しております。

●就活喫茶<OB・OGによる就職、学生生活相談会>

- ・会場/223教室
- ・時間/13:00~15:00(入退場自由、お好きな時間にどうぞ!)

新潟国際情報大学みずき会(同窓会)では、今年も「みずき野クリーンアップ大作戦」を、また新しいイベント「就活喫茶」を10月24日に開催します。

「クリーンアップ大作戦」は本校キャンパスのある「みずき野」町内が、いつまでも美しい街でありますようにと願い、学生時代にお世話になった方々からのお返礼として町内の清掃を実施します。

「就活喫茶」は、就職や学生生活などについてお茶を飲みながら気楽な雰囲気、車座になって座談(意見交換)します。在学生(後輩)の不安や悩みの解消に少しでも役に立てればと思っています。どちらにも自由に参加できますので多数の来場お待ちしています。

